

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年1月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675400115
法人名	医療法人 拓和会
事業所名	ろうけん大楠グループホームたんぼぼ (たんぼぼ棟)
所在地	鹿児島県始良市蒲生町下久徳1251番地 (電話) 0995-54-3101
自己評価作成日	平成30年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年2月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ろうけん大楠グループホームたんぼぼは、介護老人保健施設や居宅介護支援事業所と隣接し、母体事業所との連携も整っています。日々の出来事を忘れ、明日への希望が持てない生活を送っている入居者様が多い中、その日その時を大事にし、入居者様の出来ることを維持しながら、共に支えあう関係作りを目指しています。天然温泉があり、入居者様の要望で毎日でも入浴できる様にしています。また、地域での蒲生市やどんと祭りに参加したり、たんぼぼ農園で季節の野菜を作ったり、気候の良い時にバーベキューなどを行ったりと楽しみの持てる環境作りをしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送りの際、理念を唱和することで意識づけをはかり、それを入居者様とのかかわりの中で反映されるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方が行事の時等に、ボランティアで訪問してくださったり、小学校の福祉体験事業に参加したり、どんと祭りや蒲生市などの地域の行事に参加している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の中学生の職場体験学習の受け入れや運営推進会議などで民生委員の方々に認知症関連の議題を通して実践報告や情報提供を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者様、入居者様家族、役所職員、民生委員などの協力のもと、認知症関連や活動報告などの議題をもうけ改善や実践に取り組んでいるが、議題に苦慮することもある。</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>推進会議等でアドバイスや情報提供を頂いたり、電話等でもスムーズに対応して頂いている。困難ケースなどの相談なども行い協力関係を築けている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の定義を理解したうえで、個人の意思を尊重しながら、主体的に活動することを支援し行動障害を妨げないよう心がけている。また、身体拘束のみならず、精神的拘束にも気をつけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>資料を参考に意見交換や、会議を通して、入居者様の対応を振り返り、虐待に対する意識づけを行っている。特に言葉による拘束、暴言、虐待が精神的苦痛やストレスを与えることを認識しながら対応をしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>実際に日常生活自立支援事業を使っていらっしゃる、近年、単身や家族と疎遠の入居者様が増えてきていると感じている。いつでも活用できるようファイルを作ったり、グループホーム会議にて勉強会を行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前に訪問していただき施設の案内行い、理解いただく。契約時には、ケアへの取り組みや「重要事項説明」に基づき、入居者様の状態変化や退居時のどの説明、ご家族の希望など契約時に話し合い納得していただき同意を頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	親しい間柄にあっても本音を明かさな入居者様・家族もおられ、それを察してあげられる”気遣い”や環境・雰囲気作りを大切にしながら、不満や苦情にならないよう共感に努めている。意見箱の設置もしている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回、ケア会議とグループホーム会議を行っている。管理者は、職員の意見に耳を傾け、職場を盛り立てる雰囲気作りに配慮しているが、中には意見の言えない方もいるので、職員の日々の行動の変化に気をつけ、コミュニケーションが図れるよう努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に個人面談等行いながら、職員の健康状態や疲労等への配慮をし、勤務条件等も考慮している。向上心を持って意欲的に働けるよう支援している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に公費による勤務扱いで積極的に参加させるなど、研修に理解を示し、教育・スキルアップなど人材育成に対する環境は整っている。研修報告を会議の中で行い他の職員への情報提供も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域のグループホーム協議会に登録し、研修会や講演会を通して積極的に交流を図ったり、近隣のグループホームと交流の機会をもち、様々な課題・問題解決について話し合う機会がもてる。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	入居時は、特にコミュニケーションをとるように心がけ、本人の居場所をつくり、話の傾聴・不安の軽減、安心して頂けるよう努めている。特に居室の環境面の調整も行っている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	御家族やご本人の状況について話し合う機会を設け、不安や困っておられること、これまでの経緯について聞き、これから何を望んでおられるかなど聞く機会を作るように努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	相談時ご本人の様子、状況聞き、ご家族の意向などを確認、必要に応じて他のサービスを利用できるよう在宅サービスを中心に案内・紹介している。また、相談時点でパンフレットによるグループホームの案内もしている。近隣施設等の紹介もさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する側とされる側の関係ではなく、共に支え合って生きる同志であると考え、側面からの支援に心がけている。入居者様に可能なお手伝いをお願いしたり、食事の買い物等に同行して頂いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時等を利用し、日常の様子や状態変化等の報告。行事等の参加の声かけなどで交流の機会を設けている。お便りで一ヶ月の様子や活動などもお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族を通じて馴染みの友人や知人に入居されていることを伝え、訪問していただけるよう働きかけているが、入居した時点で既に人や地域との関係が途切れている場合が多く、一部の入居者様を除いては継続した支援には至っていない。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係性を把握し、一人ひとりの個性を大切にしながら、入居者様同士が関わりあう場面に努めているが、認知症の程度や性格等によって無関心だったり、自分のことで精一杯の入居者様も多く、入居者様の性格や日常の関係性について、全ての職員が共有し、職員も一緒に会話を多く持つなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>やむなく入院された方など、お見舞いや容態等、御家族との連絡をとったり、お葬式などに参列させていただいている。地域の行事ごとなどで、お会いしたときはお声かけさせていただいている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>家族からの情報や生活暦などを参考に、日々の会話や過ごし方の中で入居者様の意向をくみ取り、ふとした言葉・仕草・表情が変化する場面を見逃さず、感じ取る”気づき”を大切にしている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時の家族面談でおおまかな情報を入手し、家族や友人などの面会・訪問時に細かな情報収集に努めているが、家族と同居していなかった入居者様の情報に乏しく十分に把握出来ていないことが多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様それぞれの生活パターンを観察し、能力や意欲に応じた日課や活動を支援している。体調や気分によってもムラがあるので、状態を観ながら強要しないよう柔軟に対応している。本人が思いを表現しやすいような環境に努めている。思いを言葉として表現できない方もいらいらするので、表情の変化には注意している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一回のケア会議、サービス担当者会議、モニタリングなどで意見や見解をまとめ、実践と達成可能な支援策を見極めながら入居者様の生活の質の向上に繋げている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日常生活の様子や心身の状態について、介護記録に詳細に記録しているほか、職員間で申し送りをしている。必要時、カンファレンスを行い実践や介護計画に活かしている。ケア会議にて、日々の気づき、出来たこと・出来なかったことを発表し、意見を出し合いケアの統一につなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	体調不良時の通院や薬の依頼・受け取りなど職員が支援している。本人や家族の状況・ニーズに対応し、柔軟なサービスに取り組んでいる。(葬儀・お見舞いなどへの同行)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>消防署の指導をうけ、火災訓練や救急講習など実施している。地域で行われている、どんと祭りや、蒲生市などに出かけたり、地域のボランティアの訪問をうけたりと世代間交流による癒しはあるが、暮らしや生きがいなど、日常の生活支援に繋がる地域・社会資源とその活用はない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の定期的な受診の継続やご家族の同行不可能時や緊急性のある場合は、職員が代行するようにしており、御家族には、受診報告も行っている。緊急時の対応には、主治医と連携をとりながら支援している。他科受診等は、ご家族の希望先や以前のかかりつけ医との関わりを大切にしているほか、職員の受診同行・代行も行っている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員と看護職員は、日々の情報交換を行い、細かな観察記録・バイタルチェックが行われている。また、関連病院の医師や看護師と日常の健康管理や往診を通して情報提供や連絡体制などの連携に努め、良好な関係を構築している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、継続介護連絡表を病院に渡し、情報を共有する。入院時も洗濯物等持参時、病院関係者と情報交換・把握をし、今後の相談、見通しなど行い、早期退院に努めている。退院後の相談などもしやすい関係にある。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>介護の重度化で寝たきりや看取り、終末期医療が予測される入居者様に対し、本人・家族の意志・意向を確認し、主治医や看護師を交えて具体的な対応を話し合い、希望に沿った支援を前向きに検討しながら取り組んでいるが、地域の関係者を交えた支援には至っていない。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の指導による、救急講習（心配蘇生法・ハイムリック法・骨折・止血法）の実践。自主訓練も行いながら、緊急連絡網の整備、研修を実施しマニュアルにそって行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>事業所主体の避難訓練は、定期的に夜間想定で入居者様も参加し行っているが、法人全体や地域と連携した防災訓練は行っていない。併設施設の協力、民生委員への協力は依頼している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	配慮しながら対応しているが、行動障害がある入居者様に対しては、プライバシーより安全対応を優先しがちになっている。入浴や排泄介助については、羞恥心に配慮しながら”さりげない”対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の能力に合わせた対応を心掛けている。入居者様自身が自分の意志で主体的に生活出来るよう、場面ごとに意志を確認しながら対応している。誕生日などを利用し、要望を聞き思いにそうよう柔軟に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の能力や意欲に応じて、本人のペースに合わせた対応に努めているが、入居者様の入浴時間や排泄管理など事業所側の都合で曜日や時間を設定している日課や支援もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々人の要望に沿った、身だしなみの支援をしている。お化粧品をしたり、クリームなどでお肌のお手入れをされたりしている。また、美容室の出張サービスを行い、それぞれにあった支援をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>買い物などで、食べたいものなどを購入し、楽しい時間を作っている。野菜の下ごしらえや配膳、お茶碗集め、台拭きなど入居者様と一緒にするように努めている。味見などもお願いしている。献立に寿司・バイキング・外食・行事食など取り入れ、楽しみながら食事が出来るよう配慮している。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は、管理栄養士の立案したものを参考に、食べる量、お粥、形態（ミキサー、刻み）などの工夫や、医療管理上の制限がある方もおり、個々に合わせた支援ができるように心がけている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>一人ひとりに理解して頂き、入居者様に合わせた口腔ケアを行っている。出来ない方には、職員が責任を持って実施し、義歯は夜間に消毒している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄は、自己管理能力や排泄パターンに応じて、排泄用品の提供・服薬（緩下剤）・声かけ・誘導・排泄チェックを行っている。出来るだけ、オムツは使わないように、トイレ使用を心がけている。排泄の際の羞恥心や自尊心にも配慮しながら対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に、毎日牛乳やバナナ野菜ジュースなど個々人にあった飲み物を提供している。適宜、ヨーグルトや野菜ジュースを取り入れたり、軽体操・日常の動作・家事に伴う運動により、予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	音楽をながすなどして、温泉をゆっくり楽しめる時間を作っている。体調や状況に合わせて入浴支援を行い、本人の意思確認を取りながら入浴していただいている。ほとんどの方が、日曜日以外、毎日入浴できるようにしている。日常的に一人ひとりの要望やタイミングにあわせることは難しいが、夜間入浴なども行いながら出来るだけ要望にそえるよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	質の良い睡眠をとっていただくため、入浴や足浴・湯たんぽや室温調整など行い、刺激の少ない環境づくりに努めている。入居者様は、リビングと自室を自由に移動でき、いつでも休息したり、昼夜問わず、入床・入眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、入居者様の薬状書を把握している。服薬は、入居者の能力に合わせ、確実な確認を行なうようにしている。症状変化にも、すぐに対応出来るよう、主治医との連携もとれている。内服変更時など、申し送りを徹底している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割の持てる入居者様には（台拭き、カレンダー交換）、外出好きな方にはドライブを、お菓子の好きな方には差入れ依頼し、喜びある生活となるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	積極的な外出支援を行っている。季節に合わせて、花見・そうめん流し・初詣・外食など、入居者様の要望を取り入れながら、定期的な外出を行っている。個人的な要望や要求はほとんど聞かれないのが現状である。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	大部分の方が金銭の管理や日常の出納が難しくなっているのも事実であるが、金銭管理の出来る方は、蒲生市や外出時に、買い物やをされる。また、洋服など、ご家族の許可を頂き買い物に出かけ預かり金で支払いをして頂いたりする。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人自らが要求される方はおらず、手紙等も字がかけない等の理由で支援できていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室温や湿度の調整を行いながら、過ごしやすい環境づくりを行っている。リビングでは、いつも季節を感じていただけるように、入居者様と一緒に壁面を作った飾りして季節感がでるようにしている。天気によっては、リビングが暗く感じる時がある。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間としての集いの場に対し、個人や少人数でくつろいだり、トラブルの際の避難・保護できる隠れ家的な空間、プライバシーの確保は自室意外にスペースは無く、工夫に至っていないが、気の合った同士語り合っていたり、玄関先の椅子にかけられ花壇の花をみたりして、ゆっくりとされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に家族へ馴染みの物や思い出の品があったら持って来ていただくよう働きかけているが、自宅での生活から離れている方が多く、ホームの備え付けで済ませたり新しく買い揃える家族が多い。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーや手すりの整備と自助具で生活活動が出来るよう、その人の能力や意欲にあった使用を心がけている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない